



あかね文庫お話しの会 おひさまだより



えほんの紹介

『おだんごぱん』 ロシア民話

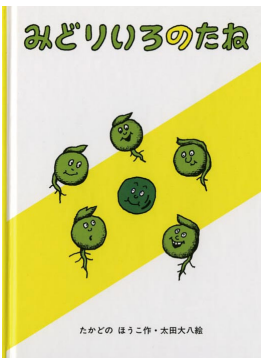
せたていじ やく わきた かず え 福音館書店



おばあさんが焼いたほかほかのおだんごぱんは、窓辺で冷やされているうちに、ころんと床にころげて戸口から外へ逃げ出しました。途中ウサギやオオカミやクマに食べられそうになりますが、得意の歌をうたってきかせてうまく逃れます。“ぼくは てんかの おだんごぱん～♪”でも、とうとうキツネにだまされて…！生き生きとしたリズムカルな言葉の楽しさは、子どもをひきつけ何度も聞きたがります。焼きたてのパンのようなふっくらした絵は、ロシアの民話をあたたかく物語ります。

『みどりいろのたね』

たかどの ほうこ 作 太田大八 絵 福音館書店



まあちゃんはうっかりもので、なまけもの女の子です。ある日、まあちゃんたちのクラスでみんなそろって畑にえんどう豆の種をまくことになりました。先生が一人ひとりに緑色の種を五こずつ配りましたが、うっかりもののまあちゃんはなめていたメロンあめを種と一緒にうめてしまいました。みんなは水やりをしても、なまけものまあちゃんは水やりもしません。

それでもえんどう豆はちゃんとなりました。

それもまるでメロンあめのような豆が…！

どうしてこんなことになったのかは、お話を読んでみてくださいね。

小さなおともだち “絵本だいすき”

Hちゃんは絵本の読み聞かせの時間、じっくりと絵本の世界に入っていくことができます。

『とんねるをぬけると』のあるページでは、道端のちいさなキノコを見つけて教えてくれました。『ちいさなねこ』では、ようやく子ねこが母さんねこに助けられる場面で、「ママだ！ママだ！」とうれしそうに自分のママに教えてあげます。『しろくまちゃんのほっとけーき』の時は、実際におもちゃの台所でたまごを落としてしまいます。しろくまちゃんのように！

Hちゃん、これからもいっぱい絵本を楽しんでね。



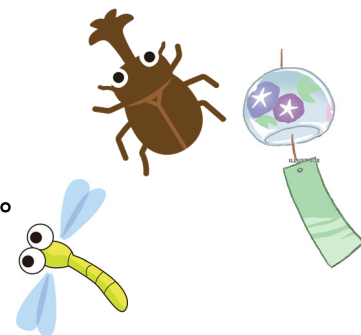
季節のわらべうた

♪ えんどうまめ 三つ くるて
おなかは たいいぞ
おけつは らっぱぞ
プードン プードン
(手をたたく)
(おなか)
(おしり)
(おしり／＼おなか)



夏のクイズ

- ① 夏、風に吹かれて良い音を出すものは？
- ② 夏の空に浮かぶもくもくした大きな雲の名前は？
- ③ セミは幼虫の時どこにいる？
- ④ かぶと虫の好きな果物は？
- ⑤ ホタルの好きな場所は？
- ⑥ カエルが好きなことは？
- ⑦ トンボの目は小さな目の集まり。いくつ集まっている？



このクイズの答えは、①カエルの鳴き声、②クモ、③土の中、④メロン、⑤カブ、⑥カブ、⑦15個です。

ゆかいなわらべ歌です。両手でおなかとおしりを叩きながら歌います。おいしいお豆をお腹いっぱい食べたら、元気なおなをどうぞ！
“えんどうまめ”をすきな食べ物におきかえて歌ったり、“プードン”をいろいろならし方にしたりにして楽しんでください。